

～膝に痛みを感じたら～



川崎幸病院
整形外科部長
原 淳

(左) 正常な半月板 (右) 水平方向に損傷した半月板

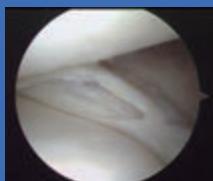


表2：50歳女性

(左) 手術前 X線いわゆる○脚を呈している



(右) 高位脛骨骨切り術後 X線骨切りにより○脚が改善している



今回のテーマは膝関節の痛みについてです。

膝関節は日常動作の様々な部分で負荷がかかります。例えば座る（椅子・しゃがみ・正座）、立つ、歩く、階段昇降、走るなどの基本動作からスポーツ動作（ストップ・ターン・サイドステップ・バックステップ・ジャンプなど）で皆様がごく普通に行う活動で膝を使っています。ですからこの膝に障害が生じると日常生活やスポーツ・レジャー活動に支障をきたす訳です。

もしも上記のような症状が現れたら…

○まず大切なことは正しい診断です！

病院を受診し、必要な問診、詳細な診察と検査(X線・MRIなど)を行います。

これが最も重要です。

長く続く症状は最初と診断が変わることもあります。初期の診断と治療で効果が得られない場合は、再度診断を必要とします。（当整形外科では診断を丁寧に行います）

○次に‘診断’あっての‘治療’となります。

治療には生活指導、物理療法や運動療法（一般的にリハビリといわれるもの）、投薬（内服・関節内注射）、や手術療法があります。治療としては症状が軽減改善する方法が良いのですが、短時間の効果しか得られないものは適切な治療とは言えません。痛みが強い場合や長期化する場合は治療法を再検討すべきと考えます。（当整形外科では適切な方法を患者様に提示し、治療に当たります）

当院ではスポーツ専門医スタッフがあり、スポーツの膝障害も積極的に診断治療いたしております。例えば関節内の靭帯損傷・半月板損傷（表1）・骨軟骨損傷に対し関節鏡 Arthroscopy を用いて手術を行っております（関

節鏡視下靭帯再建手術、半月板手術など）。また、年輩の方の変形性膝関節症に対して人工関節置換術や自家骨温存型の高位脛骨骨切り術（表2）を、患者さまのニーズに合わせ行っております。
どうぞお気軽にご相談ください。



(お問い合わせ先)
川崎幸クリニック TEL: 044-511-2112

